

平成 27 年 9 月 29 日

各 位

**2014 年の福岡市における国際会議の開催が 6 年連続で全国第 2 位となりました**

平成 27 年 9 月 29 日、日本政府観光局（JNTO）が 2014 年の「日本の国際会議開催件数」を公表しました。それによると、2014 年国際会議の開催件数は、日本全体で 2,590 件、うち福岡市における国際会議の開催件数は 336 件で、6 年連続全国第 2 位となりました。

**国際会議の開催件数が 83 件増加し、目標（※）を上回る 336 件となりました！**  
※目標は、2018 年までに 300 件の開催です

◎ 全国一の増加件数となっています。

\* 増加件数第 1 位：福岡市（83 件増）、第 2 位：京都市（26 件増）、第 3 位：名古屋市（20 件増）

◎ 全国の増加件数 163 件のうち約半分数（83 件）が、福岡市の増加件数となっています。

◎ 83 件の増加のうち、大学での開催が 33 件増加するなど、市内の様々な会場で開催件数が増加しています。

◎ 福岡市は、2013 年春に観光庁よりグローバル MICE 戦略都市に選定されており、これまで以上に観光庁や JNTO と連携のもと、国際会議の誘致を進めていきます。

◎ 今後とも大学や各施設との連携を強化し、オール福岡で開催を推進します。

○都市別国際会議開催状況

年	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2009 年	都市	東京	福岡	横浜	京都	名古屋	大阪	札幌	神戸	つくば	千里
平成 21 年	件数	497	206	179	164	124	94	82	76	74	71
2010 年	都市	東京	福岡	横浜	京都	名古屋	神戸	札幌	仙台	つくば・大阪	
平成 22 年	件数	491	216	174	155	122	91	86	72	69	
2011 年	都市	東京	福岡	横浜	京都	名古屋	神戸	札幌	大阪	千里	つくば
平成 23 年	件数	470	221	169	137	112	83	73	72	54	46
2012 年	都市	東京	福岡	京都	横浜	大阪	名古屋	千里	神戸	仙台	札幌
平成 24 年	件数	500	252	196	191	140	126	113	92	81	61
2013 年	都市	東京	福岡	横浜	京都	大阪	名古屋	千里	神戸	札幌	仙台
平成 25 年	件数	531	253	226	176	172	143	113	93	89	77
2014 年	都市	東京	福岡	京都	横浜	名古屋	大阪	千里	札幌	神戸	仙台
平成 26 年	件数	543	336	202	200	163	130	106	101	82	80

○2014 年に開催された主な国際会議

- 国際材料研究学会連合ーアジア国際会議 2014 (福岡大学, 1,933 人)
- 第 28 回国際コンピュータ支援放射線医学・外科学会議 (福岡国際会議場, 1,013 人)
- 第 27 回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議 (ヒルトン福岡シーホーク, 531 人)
- 第 17 回微粒子と無機クラスターに関する国際シンポジウム (九州大学, 225 人)

【問い合わせ先】

(公財)福岡観光コンベンションビューロー 担当：山方、軸丸、中上 TEL：092-733-5050



※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 27 年 9 月 29 日

理事長 松山 良一

## 2014 年の「日本の国際会議 開催件数」を発表

～開催件数、参加人数ともに過去最高を更新～

(概要)

- 日本政府観光局 (JNTO) が、全国のコンベンション協会等からの情報をもとにとりまとめたところ、2014 年の「日本の国際会議開催件数」(\*1)は、前年比 6.7%増 (163 件増) の 2,590 件となった。
- 都市別の開催件数は、1 位:東京 23 区 (543 件)、2 位:福岡市 (336 件)、3 位:京都市 (202 件) であった。MICE (\*2) 振興の機運の高まりが功を奏し、前年を上回る開催実績を挙げた都市が多かった。
- なお、上記国際会議への総参加者数は、199.5 万人、39.7%増 (56.6 万人増) にのぼり、うち外国人参加者数は、17.8 万人、30.9%増 (4.2 万人増) であった。国内団体主催の会議への外国人の参加や展示会に併催された会議の増加が人数の伸びに繋がったものと考えられる。
- 2015 年以降についても、上記トレンドが続くと見込まれるほか、地方自治体の MICE に対する意識の高まりにより、地方都市での国際会議開催に対する伸びが期待され、JNTO では引き続き国際会議の日本誘致に取り組んでいく所存。

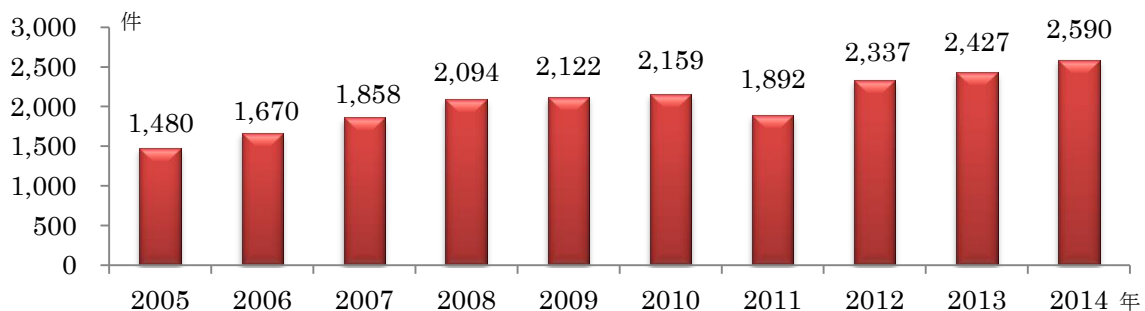
### \*1 【参考】JNTO の「国際会議選定基準」について

- ①主 催 者 : 国際機関・国際団体 (各国支部を含む)、または国家機関・国内団体 (各々の定義が明確ではないため民間企業以外は全て)
- ②参加者総数 : 50 名以上
- ③参 加 国 : 日本を含む 3 か国以上
- ④開 催 期 間 : 1 日以上

### \*2 MICE とは

企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称

資料 1 日本の国際会議開催件数 (2005 年～2014 年)



本件に関するお問い合わせ先:  
 インバウンド戦略部  
 調査・コンサルティンググループ (青山)  
 TEL: 03-3216-1901



資料2 都市別 国際会議の開催件数(2010年～2014年)

	2010年	件数	2011年	件数	2012年	件数	2013年	件数	2014年	件数
1位	東京(23区)	491	東京(23区)	470	東京(23区)	500	東京(23区)	531	東京(23区)	543
2位	福岡市	216	福岡市	221	福岡市	252	福岡市	253	福岡市	336
3位	横浜市	174	横浜市	169	京都市	196	横浜市	226	京都市	202
4位	京都市	155	京都市	137	横浜市	191	京都市	176	横浜市	200
5位	名古屋市	122	名古屋市	112	大阪市	140	大阪市	172	名古屋市	163
6位	神戸市	91	神戸市	83	名古屋市	126	名古屋市	143	大阪市	130
7位	札幌市	86	札幌市	73	千里地区	113	千里地区	113	千里地区	106
8位	仙台市	72	大阪市	72	神戸市	92	神戸市	93	札幌市	101
9位	つくば地区 大阪市	69	千里地区	54	仙台市	81	札幌市	89	神戸市	82
10位			つくば地区	46	札幌市	61	仙台市	77	仙台市	80
11位	千里地区	65	仙台市	40	つくば地区	53	北九州市	57	北九州市	73
12位	千葉市	56	北九州市	38	北九州市	45	つくば地区	51	つくば地区	66
13位	北九州市	49	千葉市	30	広島市	37	広島市	50	広島市	50
14位	奈良市	33	金沢市	26	千葉市	32	奈良市	31	奈良市	45
15位	金沢市	31	広島市	24	奈良市	30	千葉市	28	岡山市	33

つくば地区：茨城県のつくば市、土浦市

千里地区：大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市

資料3 外国人参加者数 及び 参加者総数(2010年～2014年)

